

**Keystone® Storage-as-a-Serviceサービス説明補遺**

## 1. 全般

本補遺は、Keystone Storage-as-a-Serviceサービス説明に適用される追加の機能、条件、および規約を定める。

## 2. エンドユーザの責任

### 2.1 要件：

エンドユーザは、NetAppが適切なKeystone STaaSアーキテクチャ設計およびSTaaS製品を出荷前に判断するのに役立つ、関連性があるエンドユーザのサイト、技術、ワーカロード、および運用の要件、ならびにその他の関連性がある要件をNetAppに提示する。

### 2.2 サイトの準備：

#### a) 設備

- i. 各仕様のラックおよびスペース。
- ii. 各仕様の冗長性があり保護されている電源、PDU、レセプタクルの種類および数量。
- iii. 各仕様の冷却。
- iv. 設備の出荷/積み込みエリアと設置場所との間のSTaaS製品の移動。

#### b) ネットワーク

- i. エンドユーザのデータ用スイッチもしくはファイバチャネル スイッチまたはその両方およびホストをSTaaS製品に接続するために必要なネットワーク ケーブルおよび配線。
- ii. エンドユーザの管理用スイッチおよびホストをSTaaS製品に接続するために必要なネットワーク ケーブルおよび配線。
- iii. ネットワーク サービスの構成。
- iv. エンドユーザの機器に必要なSFP。

#### c) 監視および管理

- i. 監視ツールをホストするためにエンドユーザが提供および管理するVM。
- ii. STaaS製品の管理サーバと管理ポートとの間の管理用ネットワークの接続。
- iii. 監視ツールが監視ツールとストレージ アレイの消費データと健全性データを送信するためのインターネット接続。
- iv. 相互に合意したツール、方法、および頻度でのSTaaS製品の管理ポートのリモート サポートおよび管理アクセス。

### 2.3 エンドユーザが所有する製品：

エンドユーザは、（NetApp製であるか否かは問わず）エンドユーザが所有する機器のすべての側面（適用性、互換性、同時に必要な要件、事前の要件、設計、アーキテクチャ、追加の必要なハードウェアおよびソフトウェア、インストール、統合、アドミニストレーション、管理、サポート、テスト、ドキュメントなど）に対する責任を負う。

### 2.4 エンドユーザ固有のソリューション：

エンドユーザは、Keystone STaaSの導入先であるソリューション（例：データ管理、データ保護、暗号化、監視、レポート、セキュリティ、コンプライアンス、チケット発行）のすべての側面（適用性、互換性、同時に必要な要件、事前の要件、設計、アーキテクチャ、追加の必要なハードウェアおよびソフトウェア、インストール、統合、アドミニストレーション、管理、サポート、テスト、ドキュメントなど）に対する責任を負う。

### 2.5 サイトへの立ち入り：

エンドユーザは、以下の目的を含むが、これらに限定されない目的のために、適時に、NetAppの人員がサイトに立ち入ることができるようとする責任を負う。

- a) サイトの検証。
- b) STaaS製品の棚卸し、設置、および構成。
- c) STaaS製品の保守、サポート（トラブルシューティング、修復、部品の交換など）。
- d) STaaS製品の取り外しおよび撤去。

## 2.6 機能およびサービスの使用 :

Keystone STaaSは、Keystone STaaSサービス説明に列記されている特定の機能およびサービスを使用するための権利をエンドユーザに提供する。これらの機能およびサービスを使用する際に、エンドユーザが負う責任は次のとおりである。

- a) 機能またはサービスの適用性、互換性、同時に必要な要件、事前の要件、設計、アーキテクチャ、追加の必要なハードウェアおよびソフトウェア、インストール、統合、アドミニストレーション、管理、サポート、テスト、ドキュメントに対する責任。
- b) 機能およびサービスを使用したことで生じるコミット済み容量とSTaaS製品リソースの消費であって、STaaSサービスを提供するための利用可能な容量およびリソースに影響を与える可能性があるものに対する責任。

## 2.7 変更および無効化 :

エンドユーザは次の行為をすることができない。

- a) 事前にNetAppの承認を得ずに、ONTAPのソフトウェア バージョンを変更すること。
- b) 監視ツールを無効または電源オフにすることや、使用状況または健全性をNetAppが監視できなくなるようにすること。
- c) コントローラの管理ポートへのNetAppのアクセス権を削除すること。
- d) データの効率化（圧縮、コンパクション、重複排除、シンプロビジョニングなど）を無効にすること。
- e) サブスクリプション ハードウェアを追加、除去、または変更すること。

## **3. 容量**

### 3.1 バースト時の容量 :

エンドユーザは、自己の裁量により、バースト時の容量の上限を超えてSTaaSサービスを利用することができます。ただし、（1）NetAppは、エンドユーザに対し、バースト時の容量の上限を超える利用可能な容量があることを確約せず、（2）エンドユーザがバースト時の容量の上限を超えてSTaaSサービスを利用したときに、NetAppは記載されているサービス レベルを目指す責任および達成する責任を負わず、当該サービス レベルに関していかなる責任も負わないものとする。あるパフォーマンス レベルにおいてバースト時の容量の上限を超えた場合、使用可能容量および他のパフォーマンス レベルを満たす能力に悪影響が及ぶ可能性がある。

### 3.2 消費容量（ONTAP） :

- a) あらゆる内容および種類（例：コピー、ミラー コピー、バージョン）のエンドユーザ データを保存するために使用している測定対象である論理容量の量。
- b) 親ボリュームの物理的サイズの10%を超えるクローン ボリュームを保存するために使用している測定対象である論理容量の量。
- c) Snapshot™コピーの差分データを保存するために使用している測定対象である物理容量の量。  
および、
- d) 割り当て済みの物理容量。

## **4. パフォーマンスのサービス レベル目標（オンプレミス型サービス）**

パフォーマンス レベル「ONTAPファイルおよびブロック」には次の条件が適用される。

- a) パフォーマンスの低下：各インシデントにおいて、90パーセンタイルのレイテンシ ターゲットが満たされなかった時間（分単位）。
- b) 90パーセンタイルのレイテンシは、Keystone注文内のすべてのボリュームにおいて、各パフォーマンス レベルのボリュームごとに測定される。レイテンシは5分おきにサンプリングされ、24時間にわたる90パーセンタイルの値が、次の点を考慮したうえで、日次の測定結果として使用される。
  - i. 測定時に少なくとも5 IOPSを使用していないボリュームを測定した場合、その測定値はサンプル セットから排除する。
  - ii. 測定時に書き込みが30%を超えるボリュームは、サンプル セットから排除する。
  - iii. （必要なIOPS/TiBが目標とするIOPS/TiBを超える場合） AQoSがもたらしたレイテンシは、サンプル セットから排除する。
  - iv. 各ボリュームの絶対的な最小IOPSを維持するためにAQoSがもたらしたレイテンシは、サンプル セットから排除する。
  - v. FabricPoolが有効になっているボリュームの場合、ターゲットである（コールド）ストレージを転送元または転送先とするデータ転送により生じたレイテンシは、サンプル セットから排除する。
  - vi. ONTAP®クラスタ外のアプリケーション、ホスト、またはエンドユーザ ネットワークがもたらしたレイテンシは、サンプル セットから排除する。
  - vii. STaaS追加サービスである高度なデータ保護を使用する場合、目標レイテンシはローカルのストレージ アレイとの間で行われるIOのみを含める。

- viii. 24時間における有効な測定が10件未満である場合、その日の結果は破棄する。
- ix. 非準拠ボリューム：ストレージ アレイ上の1つ以上のボリュームに適用済みの有効なAQoSポリシーがない場合、他のボリュームが利用できるIOPSの量に影響が及ぶ可能性があり、NetAppはそのストレージ アレイにおいてパフォーマンス レベルを目指す責任および達成する責任を負わない。
- c) FabricPoolの構成においては、要求されたすべてのデータ ブロックがFabricPoolのソース（ホット）ストレージに存在しており、そのソース ストレージがSnapMirror®と同期関係にない場合に限り、パフォーマンス レベルを適用する。
- d) NetAppのAFFプラットフォームにのみ適用できる。
- e) 消費容量の上限は「コミット済み容量 + バースト時の容量の上限」とする。
- f) エンドユーザのボリュームはすべて、有効なAQoSポリシーに従って構成される。
- g) ハードウェアおよびソフトウェアのインスタンスごとのすべての最小/最大およびその他の制限を適用する。
- h) ワークロードのIOPSのバランスを、Keystone注文ごとに、すべての展開済みコントローラ全体において整える必要がある。
- i) すべてのストレージ アレイ上の監視ツールおよびASUPの完全かつ継続的なイネーブルメント。

## 5. 可用性のサービス レベル目標（オンプレミス型サービス）

Keystoneの可用性のサービス レベルには、以下の条件が適用される。

- a) **ストレージ アレイのダウンタイム**：監視ツールが報告するとおり、ストレージ アレイのHAペアの両方のコントローラが利用不能である時間をいう。ただし、予定された時刻に、もしくは相互に合意した時刻にNetAppがメンテナンス、アップグレード、もしくはサポート作業を行ったことを原因として、またはNetAppの管理外もしくは責任範囲外の状況を原因としてSTaaSサービスが利用できない時間は除く。
- b) **ストレージ アレイの稼働率 (%)**： $\{[(1\text{ヶ月の秒数}) - (1\text{ヶ月のストレージ アレイのダウンタイムの秒数})] \div [1\text{ヶ月の秒数}]\} \times 100\%$ の計算結果のことをいう。
- c) 「ONTAPファイルおよびブロック」STaaSサービスの稼働率 (%)：STaaS注文を履行するために展開されたすべてのストレージ アレイの1ヶ月におけるストレージ アレイ稼働率 (%) の平均値のことをいう。

## 6. サステナビリティに関するサービス レベル アグリーメント（オンプレミス型サービス）

Keystoneのサステナビリティに関するサービス レベル アグリーメント (SLA) には、適格性に関するNetAppの承認を要し、以下の条件が適用される。

- a) ワット数は、NetAppのAutoSupport監視ツールが報告したとおりに、ONTAP AFFストレージ アレイおよびメディア シエルフが消費した電力のことをいう。
- b) 容量 (TiB単位) は、(1) パフォーマンス レベルごとのコミット済み容量の120%、または(2) データ効率の係数を2とした場合の展開済み実効容量のうち、いずれか大きい方とする。
- c) 次の物品で構成されるカスタマイズされていない標準のKeystone STaaSに適用され、単一のパフォーマンス レベルに関する注文であり、月額を後日請求とする。
  - i. ONTAP AFF Aシリーズのストレージ アレイ。
  - ii. 2ノードのスイッチレス クラスタ。
  - iii. 混在していない構成。
  - iv. MetroCluster™以外の構成。
- d) すべてのストレージ アレイ上の監視ツールおよびASUPの完全かつ継続的なイネーブルメント。
- e) 保存されているエンドユーザ データの平均データ効率係数は、最低でも2を達成していかなければならない。
- f) 消費電力の測定中の周囲の運用環境の温度は25°C以上27°C以下でなければならない。
- g) エンドユーザは、サービス月の末日から7日以内にKeystoneサポートにP3チケットを送信しなければならない。
- h) NetAppが、サービス レベル違反を判断する。
- i) エンドユーザは、NetAppが要求する追加情報（エンドユーザの消費電力データおよびその測定方法など）を提供しなければならない。
- j) パフォーマンス レベルごとの最小コミット済み容量を満たさなければならない。
- k) クレジットは、コミット済み容量のみに基づいて計算される。
- l) クレジットは、翌月の請求にのみ適用できる。

m) サステナビリティのサービス レベル

パフォーマンス レベル	SLA指標	最小コミット済みTiB	対象プラットフォーム
Extreme	8W/TiB以下	200 TiB	A800、A900
Premium/Performance	4W/TiB以下	300TiB	A800、A900

n) サービス クレジット

請求期間においてSLAが未達の日数	月次の請求クレジット (%)
1~2日	3%
3~7日	15%
14日	50%

## 7. ONTAPの機能

Keystone STaaSは、Keystone STaaSサービス説明に列記されている特定の機能およびサービスを使用するための権利をエンドユーザに提供する。こうした機能およびサービスの使用には、以下の条件が適用される。

- a) こうした機能の使用を原因とする容量の消費はすべて消費容量にカウントされる。
- b) こうした機能の使用により消費したハードウェアとソフトウェアのリソースが、利用可能な容量およびパフォーマンスに影響を与える可能性がある。
- c) 機能の使用には、その機能の仕様および制限が適用される。
- d) ONTAPターゲットへのデータの階層化：
  - i. NetAppターゲットに階層化されたデータはソースの消費容量にカウントされない。
  - ii. 「NetAppのターゲット」には、NetAppのONTAPソリューション プラットフォームまたはStorageGRID®ソリューション プラットフォームが含まれる。
  - iii. NetApp以外のターゲットの階層化には、Keystone STaaSサービス説明に記載されているSTaaS追加サービス「NetApp以外のターゲットへのデータ階層化」が必要である。

## 8. 設計

STaaSサービス アーキテクチャのKeystone設計には、エンドユーザ固有のソリューション設計、アプリケーションの開発および統合、プロセス開発、サードパーティ製のソフトウェアおよびハードウェアの互換性チェックおよび統合は含まれない。

## 9. STaaS製品

STaaS製品には、以下の物品は含まれない。以下の物品を追加する場合、追加料金が適用される可能性がある。

- a) 混在中の独占使用またはKeystone以外の要件のためのクラスタ スイッチ。クラスタ スイッチは、3つ以上のKeystoneコントローラで構成される初期構成のためにのみ含める。
- b) ラック。
- c) STaaS製品とエンドユーザの製品との間のネットワーク ケーブルと配線。
- d) 混在中の独占使用またはエンドユーザの製品における使用のためのSFP。
- e) 長距離SFP。
- f) エンドユーザの技術要件（例：プロトコル、接続）の変更により、期間中に、STaaS製品において変更が必要になった場合。

## 10. インストール

STaaSサービス「インストール」には以下の作業が含まれる（該当する場合）。

- a) 導入プロジェクトの管理。
- b) 導入構成ワークブックの作成。

- c) サイトの準備状況の確認。
- d) 納入したSTaaS製品の在庫の確認。
- e) エンドユーザが提供するラックへのSTaaS製品の設置および配線。
- f) STaaS製品のファームウェアのアップデート。
- g) STaaSソフトウェアおよびライセンスのインストールとアップデート。
- h) ONTAP予備ディスク、RAID、集合体の構成。
- i) クラスタ インターコネクト スイッチの構成。
- j) ONTAPスイッチ済みクラスタまたはスイッチレス クラスタの構成。
- k) ONTAP AutoSupport (ASUP) の構成およびテスト。
- l) エンドユーザが提供するVM上の監視ツールのインストール、構成、およびテスト。
- m) 最小限のテスト構成（テスト後に削除）の作成およびSTaaSサービスの高可用性のテスト。
- n) ドキュメントで認証済みの導入。
- o) 対象外の作業：
  - i. エンドユーザの機器、サーバ、クライアント、VM、およびネットワークの設置、構成、およびテスト。
  - ii. エンドユーザ固有のソリューション、エンドユーザ固有のソリューションおよびアプリケーションのインストール、構成、および統合（バックアップ/リカバリ、ディザスター リカバリ、データ移行、パフォーマンス評価、および混在を含む）。
  - iii. CVOの導入。

## 11. 監視ツール

- a) 監視ツールは、STaaS製品の管理プレーンにのみ接続し、当該管理プレーンとのみ通信する。
- b) NetAppおよび監視ツールのいずれも、エンドユーザのデータに物理アクセスおよび論理アクセスをせず、エンドユーザのデータを運用、処理、および送信しない。
- c) リモートでのトラブルシューティング、サポート、またはメンテナンス作業中に、エンドユーザは、権限付与、監視、NetAppによる必要なSTaaS 製品へのリモート アクセスのロギングを管理する。
- d) ファイル ストレージ、ブロック ストレージ、オブジェクト ストレージの消費容量は、監視ツールによって1日1回以上記録される。
- e) クラウド ボリュームONTAPの消費容量は、Could Managerが15分ごとに記録する。

## 12. 監視

STaaSサービスの監視は、STaaSサービスを提供するためにNetAppが必要とする場合に限られる。

## 13. レポート

STaaSサービスのレポートは、STaaSサービスを提供するためにNetAppが必要とする場合に限られる。

## 14. テクニカル サポート

Keystoneのテクニカル サポートには、以下の除外事由が適用される。

- a) エンドユーザのオペレーティング システム、アプリケーション、およびユーザ データのバックアップとリカバリ。
- b) エンドユーザのアプリケーションのトラブルシューティングおよびパフォーマンス調整。
- c) ウィルスおよびその他のマルウェアの特定および除去。
- d) エンドユーザ固有のアプリケーション、コンピューティング、ネットワーキング、ストレージ、およびプロセスの運用テスト。
- e) NetAppが提供するシステムの修正、修理、パッチ、または変更をエンドユーザが実施しなかったために必要となるサービス。
- f) NetAppが過去に提案した回避措置をエンドユーザが実施しなかったために必要となるサービス。
- g) ハードウェア、ファームウェア、またはソフトウェアのインストール、修理、保守、または変更を、ネットアップ以外の権限のない第三者が試みたために必要となる（とネットアップが判断した）サービス。
- h) システムの管理タスク。

- i) トレーニング。
- j) 相互接続または互換性に関するトラブルシューティング。

## 15. ソフトウェアのアップデート

サブスクリプション ソフトウェアのアップデートには、以下の除外事由が適用される。

- a) エンドユーザが独自に必要とするが、STaaSサービスの運用および提供には必要ではないパッチおよび修正プログラムの特定およびインストール。
- b) 混在の有効化およびリバートに必要なソフトウェアのアップデート。

## 16. ハードウェアのアップデート

サブスクリプション ハードウェアのアップデートは、STaaSハードウェアのサポート終了スケジュールをはじめとするさまざまな基準に基づく。

## 17. Keystoneアクセス マネージャ

以下の条件が適用される。

- a) KSMのスコープにエンドユーザが所有する機器は含まれない。
- b) KSMはNetAppのサポート アカウント マネージャ（SAM）が提供するサービスの範囲を置き換えたり、重複させたりするものではない。
- c) 要望に応じて、エンドユーザは、STaaS製品のためにSAMサービスを別途購入することができる。

## 18. 高度なデータ保護

高度なデータ保護は、対称的なMetroCluster IP同期ミラーリングを提供するSTaaS追加サービスである。以下の条件が適用される。

- a) 高度なデータ保護は、NetAppのMetroCluster™を基盤とする。
- b) 対称的なMetroCluster構成のみをサポート対象とする。
- c) MetroCluster IPの消費容量は、プライマリミラー、プライマリ非ミラー、およびエンドユーザデータの全ミラーコピーを保存するのに使用している論理容量として測定される。
- d) デプロイメント サービスが含まれる。
  - i. MetroClusterの基本要件の収集、構成、および機能テスト。
  - ii. ISLのテストおよび文書化。
  - iii. 複数のサイトにわたるテスト用のアグリゲートSnap Mirrorリレーションシップの作成（テスト後に削除）。
  - iv. ノードのフェイルオーバーと回復のテストと文書化。
- e) 対象外のサービス
  - i. エンドユーザ固有のMetroClusterの設計。
  - ii. MetroCluster ISLの接続。
  - iii. MetroClusterピアリング ネットワーク スイッチと接続。

## 19. NetApp以外のターゲットへのデータ階層化

NetApp以外のターゲットへのデータ階層化は、Keystone ONTAPシステムのS3ベースのFabricPoolデータを、NetAppが対応しているNetApp以外のS3データストレージ ターゲットに階層化するSTaaS追加サービスである。

- a) 対応しているNetApp以外のターゲットへのFabricPoolデータ階層化の消費容量は、NetApp以外のデータストレージ ターゲットに階層化されているエンドユーザデータを「Keystoneファイルおよびブロック」パフォーマンス レベルで保存するために使用されている物理容量として測定される。

## 20. NR-NVC

NR-NVCは、期間の末日に不具合があるメディアおよび不揮発性メモリのコンポーネントをエンドユーザが保持できるようにするSTaaS追加サービスである。以下の条件が適用される。

- a) エンドユーザは、保持するコンポーネントを再利用することができない。
- b) NR-NVCは、サブスクリプション期間の開始時点のみにおいて利用可能である。
- c) STaaS追加サービス「NR-NVC」では、パフォーマンス レベル「ファイルおよびブロック」でONTAP SnapLock® Compliance機能を使用する必要がある。

## 21. Keystone用のデータインフラ インサイト (DII)

Keystone用のDIIは、Keystone環境のためのインフラの監視、分析、および最適化を実行し、Keystone環境の分析情報を提供するSTaaS追加サービスである。以下の条件が適用される。

- a) サブスクリプション期間の末日の90日前までに、既存のSTaaSサブスクリプションのために、新しいSTaaSサブスクリプションで、または個別に注文可能である。
- b) 注文ごとに、各パフォーマンス レベルについてSTaaSコミット済み容量およびSTaaS消費済みバースト時の容量に基づいて請求される。
- c) Keystone用のDIIのサブスクリプションは、新しいDIIテナントまたは既存のDIIテナントの一部とすることができる。
- d) エンドユーザは、Keystone用のDIIをインストールおよび構成する責任を負う。

## 22. 更新

- a) Keystone STaaSの新しいメジャー バージョンが現在のサブスクリプション期間中にリリースされた場合、その時点で最新の注文は、さらなる1年間についてのみ、1回限り更新することができる。その後、注文は、その時点で最新のバージョンの規約に基づいて更新される。

## 23. サブスクリプションの変更

- a) STaaSサービスの変更を将来行う可能性がある場合、その可能性をNetAppに適時に伝達して、必要に応じて追加のSTaaS製品を計画、提供、および導入できるようにする必要がある。
- b) Keystone STaaSサービス説明に記載されているとおり、コミット済み容量の変更には、該当する各パフォーマンス レベルの増量単位または減量単位、および最小コミット済み容量の要件が適用される。
- c) コミット済み容量の増量：NetAppは、エンドユーザに対して、かかる増量を承認する。ただし、かかる増量が、サブスクリプション期間満了前の90日以内にSTaaS製品を追加することを必要とするものである場合には、両当事者が、サブスクリプション期間を更新し、またはその他延長することを、かかる最後の90日の期間中またはそれ以前に書面で合意しない限り、NetAppは、かかる増量を承認する義務を負わない。
- d) コミット済み容量の減量：（1）エンドユーザによる減量リクエストは、書面によって行い、調整を適用する12カ月のサブスクリプション期間が開始する60日前までにNetAppが受理する必要があり、（2）エンドユーザによる減量リクエストは、最初のサブスクリプション期間の2年目または3年目については1回、最初のサブスクリプション期間の4年目または5年目については2回に制限され、（3）かかる減量によってコミット済み容量がその時点で最新のコミット済み容量の25%を超えて減ることはできず、いかなる場合でも、減量によって、コミット済み容量が、該当するパフォーマンス レベルの最小コミット済み容量要件を下回ることはできず、（4）いかなる減量も、次の12カ月のサブスクリプション期間の開始時点においてのみ効力が生じ、（5）Keystone STaaSサービス説明に記載されている減量には、事前にNetAppから書面による同意を得る必要があり、かかる同意を不适当に保留してはならない。
- e) STaaS追加サービス：STaaS追加サービスは、残りの期間が12カ月を上回るサブスクリプションにおいて認められる。
- f) 再割り当て：（1）エンドユーザは、前回の再割り当てリクエストがアクティブ化した日から90日が経過するまで再割り当てを再びリクエストすることができず、（2）エンドユーザは、サブスクリプションが更新されない限り、サブスクリプション期間の最後の90日間において再割り当てをすることができず、（3）エンドユーザの再割り当てリクエストは、次の請求サイクルが開始する少なくとも5営業日前までに送信しなければならず、次の請求サイクルの初日にアクティブ化される。

#### 24. 機器の移動

Keystone STaaSは、エンドユーザが、NetAppから承認を得ていることを条件として、STaaS製品を最初の設置サイトから別のエンドユーザのサイトに移動または再配置できることを定めている。以下の条件が適用される。

- a) エンドユーザは、移動予定日の少なくとも60日前までにNetAppに対し書面で要求する必要がある。
- b) NetAppは、事業、法務、財務、コンプライアンス、サポート、およびその他の考慮事項に基づいて調査を行い、その上で承認する場合や、追加の潜在的な条件を提示する場合がある。
- c) 関連する注文に基づいて提供されたすべてのSTaaS製品は、一緒に移動する必要がある。
- d) 移動を可能にするために必要なすべての作業、サービス、追加ハードウェアは、Keystoneのサービス料金に含まれていない。
- e) NetAppは、移動中のサービスの中断、エンドユーザデータの喪失、レポートの提供、およびサービスレベルに対する責任を負わない。
- f) エンドユーザは、エンドユーザデータのバックアップ、移行、暗号化、コンプライアンス、および移動中のセキュリティ確保に対する責任を負う。
- g) エンドユーザは、移動中および移動後において、関連する注文ごとの最小支払い額および期日が到来したその他の金額の支払いを継続する責任を負う。
- h) 可能な場合、STaaS製品のプロジェクト管理、取り外し、梱包材の入手、および梱包のために契約をエンドユーザがNetAppまたはパートナーと締結することを推奨する。
- i) エンドユーザは、適切な交換価値保険を付与して出荷する責任を負う。
- j) エンドユーザは、移動中にSTaaS製品に生じた紛失および損害であって、NetAppのサポートおよび保証の対象にはならないものに対する責任を負う。
- k) エンドユーザは、移動先サイトにおけるサイトの準備に対する責任を負う。
- l) エンドユーザは、NetApp、エンドユーザ、およびパートナーの役割および責任を最初の設置中のものと同一にして、移動先サイトにてサービスを展開するための契約をNetApp PSまたはパートナーと締結する必要がある。

#### 25. 混在

STaaSサービスは、NetAppから承認を得ていることを条件として、混在（Commingling）を提供する。以下の条件が適用される。

- a) 注文を送信する前に、NetAppの承認を得る必要がある。
- b) 同一のONTAPクラスタ内のKeystoneではないNetAppのONTAPストレージアレイは、混在期間中に、Keystone STaaS製品と同一レベルのNetAppサポートの対象にしなければならない。
- c) 混在に関連する、または混在に必要なすべての作業、ハードウェア、ソフトウェア、およびサービス（実現可能性、サポート可能性、設計、計画、管理、追加の必要なハードウェアまたはソフトウェア、クラスタスイッチ、SFP、ケーブル配線、ハードウェアの設置、ソフトウェアのインストール、構成、ソフトウェアのアップグレードまたはダウングレード、テスト、文書化、NetAppが対応している構成に戻すことなどを含むがこれらに限定されない）は、Keystoneのサービスおよび価格の一部に含まれていない。